

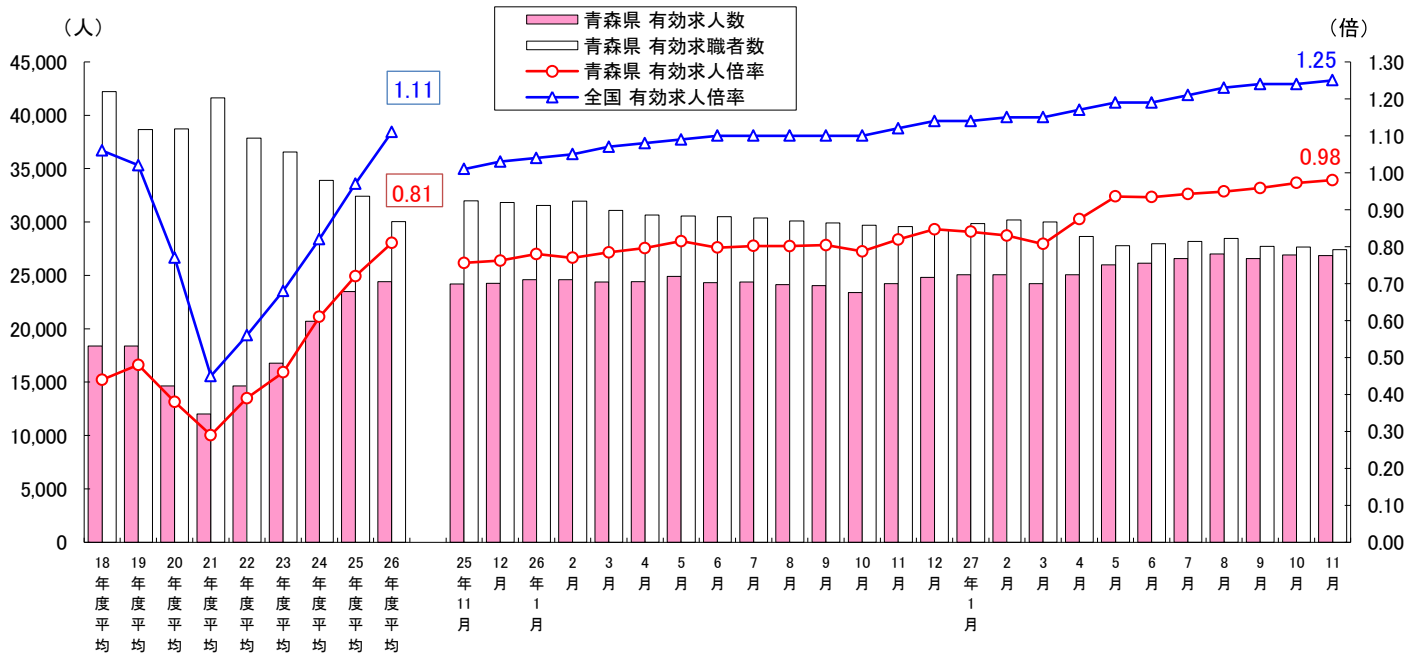
# 最近の雇用情勢について

(平成27年11月)

青森労働局

## I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

11月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.2%減少の26,850人、有効求職者数(同)は1.0%減少の27,397人で、有効求人倍率(同)は前月より0.01ポイント増加の0.98倍となった。

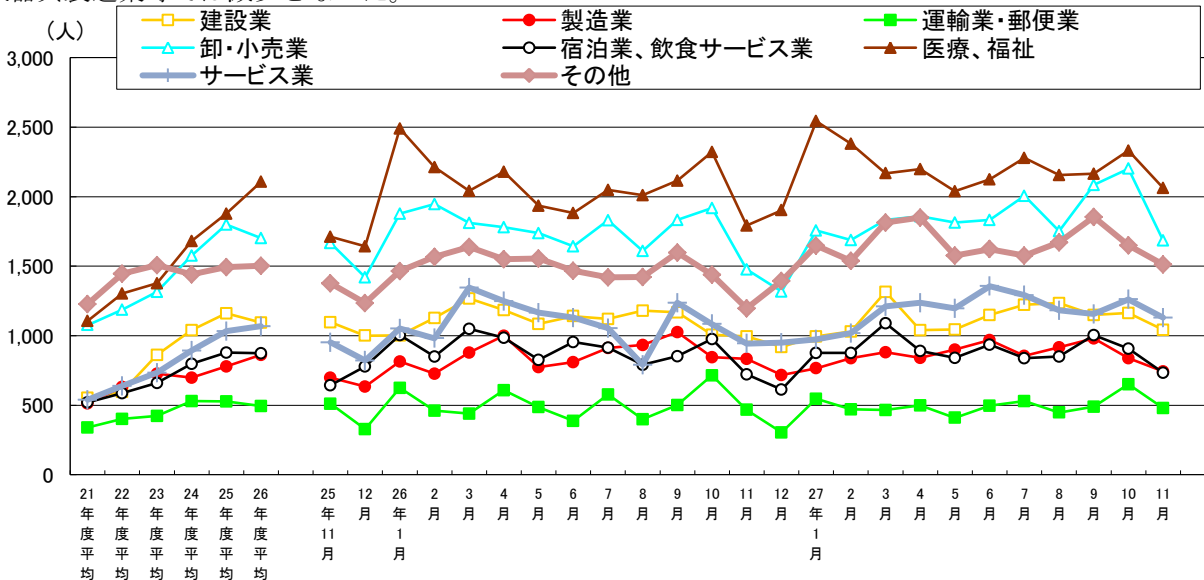


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

11月の新規求人(原数値)は前年同月比11.4%(961人)増加、前月比17.2%(1,617人)減少の9,390人。

産業別に前年同月と比較すると、建設業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、製造業では減少となった。製造業では、繊維工業、窯業・土石製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等では減少となった。



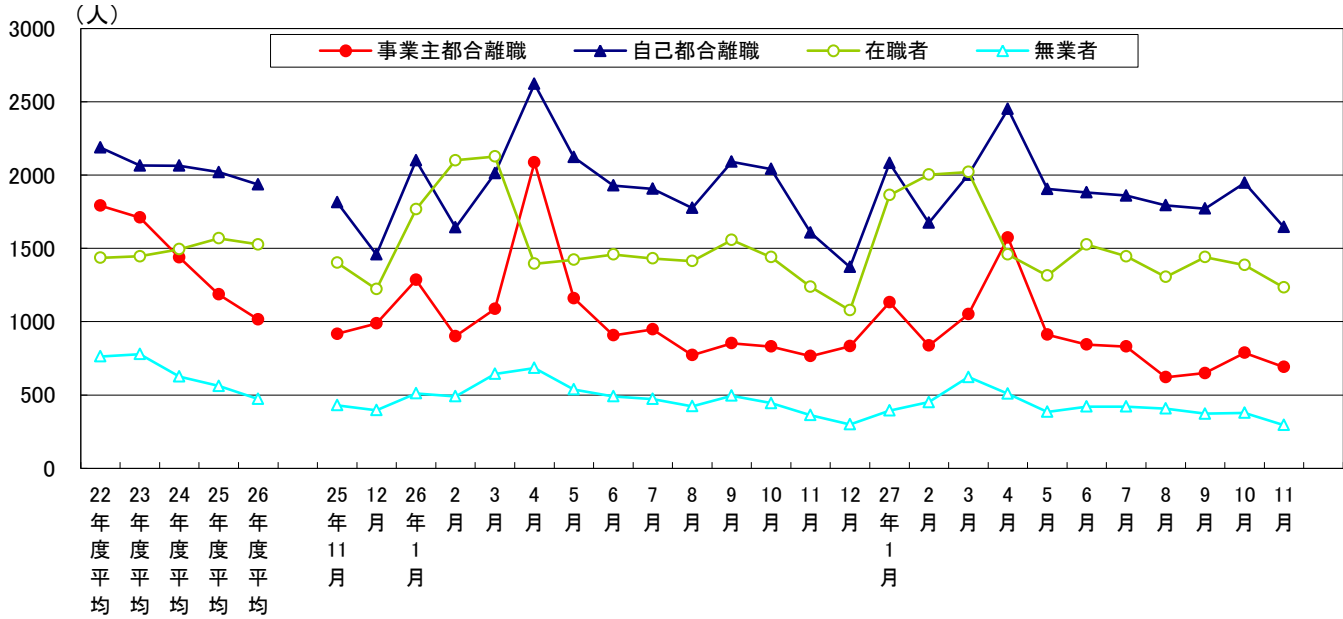
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

### Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

11月の新規求職者数は、前年同月比2.5% (100人)減少、前月比13.9% (638人) 減少の3,966人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は0.3% (4人)減少し、離職者は1.2% (29人)の減少、無業者は、18.6% (67人)の減少となった。

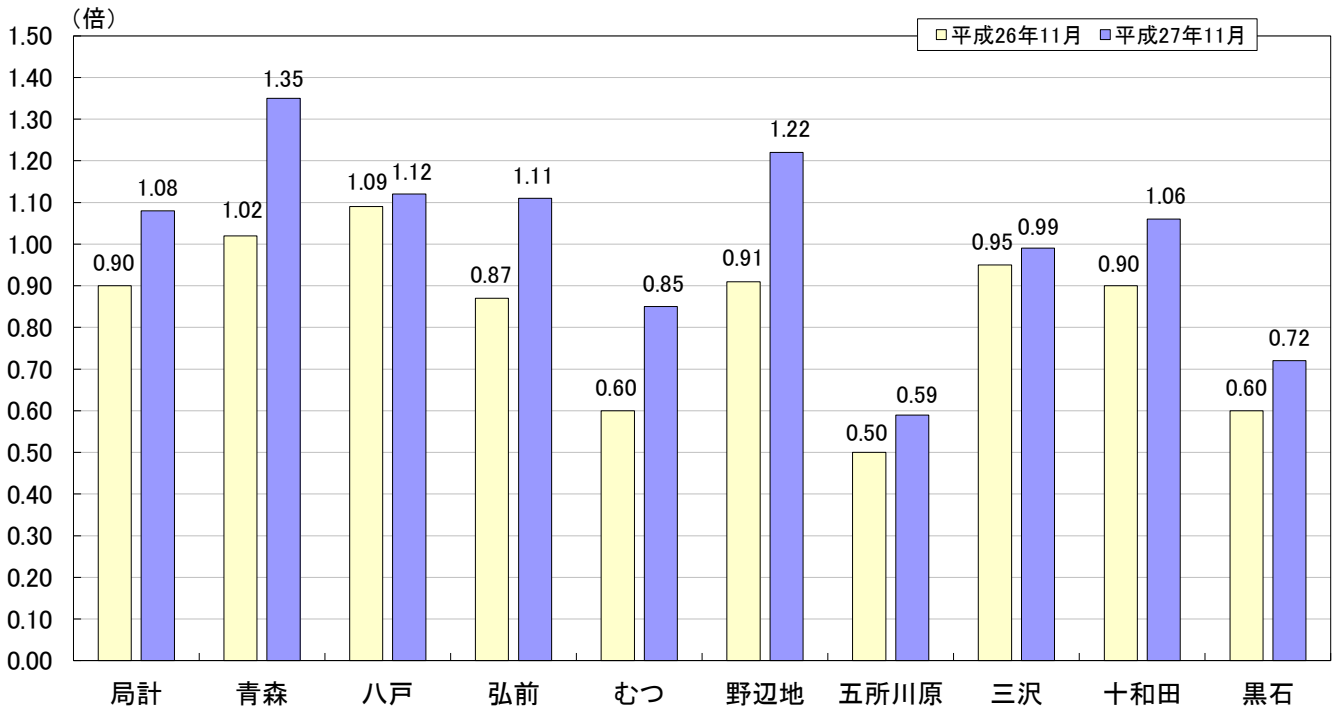
離職理由でみると、事業主都合は9.6% (73人)の減少、自己都合は2.5% (40人)の増加となった。



### Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

11月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.08倍となり、前年同月を0.18ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

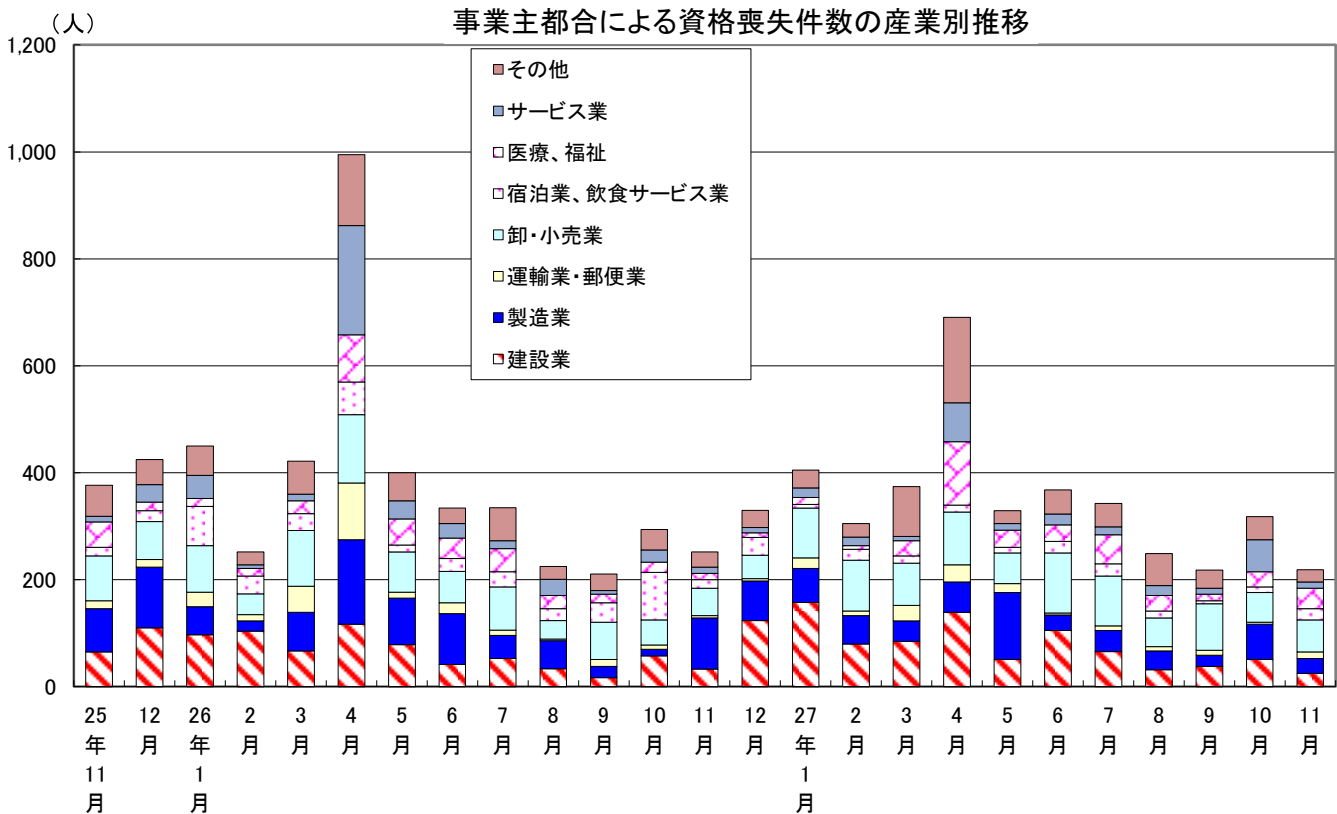
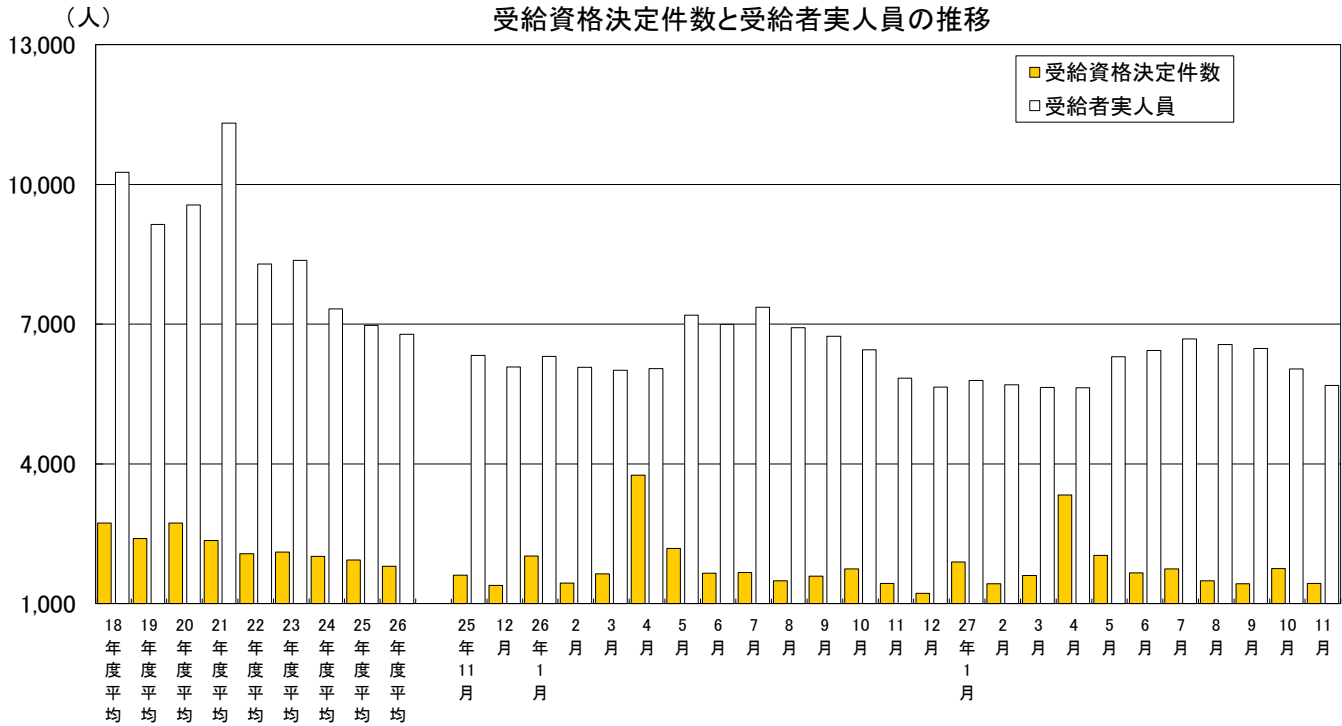


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	24,841	6,269	5,663	4,523	1,249	796	2,388	1,377	1,226	1,350
有効求人数	26,885	8,445	6,334	5,026	1,067	971	1,402	1,366	1,303	971

## V 雇用保険の状況

11月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比2.6%（154人）減少、前月比では5.9%（385人）減少の5,683人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比増減なし、前月比では18.3%（321件）減少の1,431件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比13.1%（33人）減少、前月比31.1%（99人）減少の219人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。